

計画書記載例

様式第2号（第8条，第9条，第11条関係）

提出書

〇〇年〇月〇日

徳島県知事 殿

提出者 住所 徳島市〇〇町〇〇番地
氏名 株式会社徳島〇〇
代表取締役 〇〇 〇

徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例第25条第1項（第4項），同条第3項（同条第5項において準用する場合を含む。）又は第26条第1項（第2項）の規定により，次の書類を提出します。

提出書類	<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書	計画期間 29年度～ 31年度
	<input type="checkbox"/> 実施状況等報告書	報告対象年度 年度
連絡先	担当部署 名 称	株式会社徳島〇〇 徳島事業所
	所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 徳島市〇〇町△△番地
連絡先	担当者名	環境担当課 〇〇 〇〇
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	ファクシミリ番号	〇〇〇-〇〇〇-××××
	電子メールアドレス	×××@△△△.jp ※中小排出事業者のみ記載 (特定事業者は全て公表)
提出書類の内容の公表に関する同意		<input checked="" type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない

備考

- 提出者の氏名（法人にあっては，代表者の氏名）を自署する場合は，押印を省略することができる。
- 「提出書類」欄は，該当する□にレ印を記入すること。
- 「報告対象年度」とは，この報告書を提出する年度の前年度をいう。
- 中小排出事業者にあっては，「提出書類の内容の公表に関する同意」欄は，該当する□にレ印を記入すること。

計画書記載例

様式第1号（第8条，第9条関係）

（表）

温室効果ガスの排出削減計画書		区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 変更
事業者の区分	<input type="checkbox"/> 特定事業者（原油換算エネルギー使用量が1,500キロリットル以上の者） <input type="checkbox"/> 特定事業者（自動車運送事業を行う者） <input type="checkbox"/> 特定事業者（自家用貨物自動車による貨物の輸送を行う者） <input checked="" type="checkbox"/> 中小排出事業者（特定事業者以外の事業者）			
氏名又は名称	株式会社徳島〇〇			
住所又は主たる事務所の所在地	徳島市〇〇町〇〇番地			
主たる業種	〇〇〇〇 ※日本標準産業分類における細分類を記載			
計画期間	29年度～31年度 ※原則、3年から5年の間			
基本方針	<p>エネルギー消費効率の改善、廃棄物の削減、従業員への環境教育等により、温室効果ガス削減を目指す。</p> <p>※計画期間を通しての取り組む温室効果ガス排出削減や廃棄物の排出抑制など気候変動対策をはじめ、環境全般に関する考え方をまとめ記入</p>			
推進体制	<p>代表取締役を本部長とする環境対策本部を設置し、温室効果ガス排出量の削減に関する諸計画の策定と評価を行う。</p> <p>※推進責任者及び担当者並びに点検体制をまとめ記入</p>			
	環境マネジメントシステムの規格の名称	IS014001	適用範囲	本社 〇〇事業所 〇〇工場
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制に係る措置	(29)年度	設備点検及び運用改善を実施		
	(30)年度	老朽化設備の更新を計画		
	(31)年度	高効率設備へ更新		
	()年度	※排出抑制等に直接影響を及ぼす取組・措置に		
	()年度	ついて各年度毎に計画を立て具体的に記入		
事業活動に伴う温室効果ガスの排出状況	基準年度排出量 ①	※28年度排出量 8,500 t-CO ₂		
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制に係る目標	目標年度排出量 ②	※31年度排出量 8,350 t-CO ₂		
	目標削減率	<input type="checkbox"/> 排出量ベース	%	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位ベース	※「1%/年以上」に努める 3.5 %	
		原単位に用いた指標及び設定方法	CO2排出量(t-CO2)/生産数量(t) ※生産数量、延床面積、走行距離等	
目標設定の考え方	本社「〇〇計画」の温室効果ガス削減目標に整合するよう目標値を設定			

計画書記載例

(裏)

	区 分	目 標 年 度		
		取 組 量 等	吸収量又は削減量	
森林吸収源対策等による温室効果ガスの吸収量及び削減量	森林の整備及び保全	整備面積	7.20 ha 35 t	
	J-クレジットの購入	購入量	t	
	グリーン電力証書の購入	購入量	kwh t	
	グリーン熱証書の購入	購入量	GJ t	
	再生可能エネルギーの供給	売電量	kwh	t
		熱供給量	GJ	t
	その他	()	t	
	吸収量及び削減量の合計 ③			35 t
差 引 排 出 量	目標年度差引排出量 (②-③) ④		8,315 t-CO ₂	
	削減率 ((①-④) / ①)		2.2 %	
地域における温室効果ガスの削減への貢献に関する事項	<p>環境教育として、小中学校へのお出前授業や工場見学会を実施 地元の森林育成のため、植林・植栽活動に参加 県産材の積極活用</p> <p>※事業活動とは別に、地域における温室効果ガス排出削減につながる取組を記載</p>			
その他温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	<p>温室効果ガス排出量の少ない製品の開発</p> <p>※上記以外に、温室効果ガス排出抑制に資する取組があれば記載</p>			
特 記 事 項	<p>調整後排出量(基準年度8,599t-CO₂、目標年度8,446t-CO₂)</p> <p>※調整後温室効果ガス排出量を記載</p> <p>※燃料等に係る独自の係数を用いた場合などに記載するほか、計画書に記載した事項の参考となる資料を必要に応じて添付</p>			

備考

- 「区分」欄，「事業者の区分」欄及び「目標削減率」欄は，いずれか該当する□にレ印を記入すること。
- 「主たる業種」欄には，日本標準産業分類の細分類に従って事業名を記載し，2以上の業種に属する事業を行う事業者にあつては，そのうちの主たる事業を記載すること。
- 「環境マネジメントシステムの規格の名称」欄は，環境マネジメントシステムの規格の認証を受けている場合等に記載すること。
- 「基準年度」とは計画期間の初年度の前年度をいい，「目標年度」とは計画期間の最終年度をいう。

計画書記載例

計画書：基準年度

温室効果ガス排出量内訳書

氏名又は名称		株式会社徳島〇〇					
工場等の名称							
工場等の住所又は所在地							
工場等の主たる用途		※基準年度 計画期間の初年度の前年度					
提出書類の区分		記載年度		記載年度の区分			
<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書 <input type="checkbox"/> 実施状況等報告書		28年度 (29年度～31年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 基準年度(実績) <input type="checkbox"/> 目標年度(計画) <input type="checkbox"/> 報告年度(実績)			
温室効果ガス排出量			実数値欄に <input checked="" type="checkbox"/> 入力				
A 二酸化炭素の排出区分	エネルギー種別		単位	実数値	原油換算数量 (キロリットル)	二酸化炭素換算 数量(トン)	
	揮発油(ガソリン)		キロリットル	239	213	555	
	灯油		キロリットル				
	軽油		キロリットル				
	A重油		キロリットル	1,500	1,513	4,064	
	液化石油ガス(LPG)		(トン)	100	131	300	
	液化天然ガス(LNG)		()				
	都市ガス(CNGを含む。)		千立方メートル				
	産業用蒸気		ギガジュール				
	産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水		ギガジュール				
	電気	電気事業者	昼間買電	千キロワット時	4,000	1,029	2,604
			夜間買電	千キロワット時	1,500	359	977
		その他	()	千キロワット時			
	上記以外のエネルギー	()		()			
		()		()			
()		()					
計 ①			—	—	3,245	8,500	
他人への供給	売電		千キロワット時				
	()		()				
計 ②			—	—	0	0	
合計 ③ (①-②)			—	—	3,245	8,500	
B その他のガス排出区分	温室効果ガスの種別		単位	実数値	二酸化炭素換算数量(トン)		
	二酸化炭素(CO ₂)		トン				
	メタン(CH ₄)		トン				
	一酸化二窒素(N ₂ O)		トン				
	パーフルオロカーボン(PFCs)		トン				
	ハイドロフルオロカーボン(HFCs)		トン				
	六ふっ化硫黄(SF ₆)		トン				
	三ふっ化窒素(NF ₃)		トン				
計 ④			—	—			
該当する排出源の名称							
合計 ③+④ ③は二酸化炭素換算数量に限る						8,500	

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

3 産業用蒸気とは、熱供給事業者以外から供給を受ける蒸気をいいます。

4 電気事業者からの買電で、昼夜別契約をしていない場合は、全量昼間買電として計算してください。

5 自家発電は、「電気」の「その他」に実数値のみを記入してください。

6 燃料、蒸気、温水、冷水、電気を販売している場合は、「他人への供給」に実数値及び換算数量を記入してください。

7 「B その他のガス排出区分」の二酸化炭素は、別表第1の「2 非エネルギー起源」などを参考に二酸化炭素換算数量を計算してください。

8 第一種エネルギー管理指定工場等又は第二種エネルギー管理指定工場等を設置している場合は、事業者の内訳書の外、当該工場等毎の内訳書を添付してください。当該工場等毎の内訳書については、「工場等の名称」、「工場等の住所又は所在地」及び「工場等の主たる用途」を記入してください。

計画書記載例

計画書：基準年度

温室効果ガス排出量内訳書

※指定工場等を設置している場合は、当該工場等毎の内訳書を添付

氏名又は名称	株式会社徳島〇〇						
工場等の名称	〇〇工場						
工場等の住所又は所在地	徳島市〇〇町××番地						
工場等の主たる用途	〇〇工場						
提出書類の区分	記載年度		記載年度の区分				
<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書 <input type="checkbox"/> 実施状況等報告書	28 年度 (29 年度 ~ 31 年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 基準年度 (実績) <input type="checkbox"/> 目標年度 (計画) <input type="checkbox"/> 報告年度 (実績)				
温室効果ガス排出量			実数値欄に入力				
A 二酸化炭素の排出区分	エネルギー種別	単位	実数値	原油換算数量 (キロリットル)	二酸化炭素換算数量 (トン)		
	揮発油(ガソリン)	キロリットル	239	213	555		
	灯油	キロリットル					
	軽油	キロリットル					
	A 重油	キロリットル	1,500	1,513	4,064		
	液化石油ガス(LPG)	(トン)	100	131	300		
	液化天然ガス(LNG)	()					
	都市ガス(CNGを含む。)	千立方メートル					
	産業用蒸気	ギガジュール					
	産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水	ギガジュール					
	電気	電気事業者	昼間買電	千キロワット時	3,500	900	2,279
			夜間買電	千キロワット時	1,000	239	651
		その他	()	千キロワット時			
	上記以外のエネルギー	()	()				
		()	()				
()		()					
計 ①	—	—	2,996	7,849			
他人への供給	売電	千キロワット時					
	()	()					
計 ②	—	—	0	0			
合計 ③ (①-②)	—	—	2,996	7,849			
B その他のガス排出区分	温室効果ガスの種別	単位	実数値	二酸化炭素換算数量 (トン)			
	二酸化炭素(CO ₂)	トン					
	メタン(CH ₄)	トン					
	一酸化二窒素(N ₂ O)	トン					
	パーフルオロカーボン(PFCs)	トン					
	ハイドロフルオロカーボン(HFCs)	トン					
	六ふっ化硫黄(SF ₆)	トン					
	三ふっ化窒素(NF ₃)	トン					
計 ④	—	—					
該当する排出源の名称							
合計 ③+④	③は二酸化炭素換算数量に限る			7,849			

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

3 産業用蒸気とは、熱供給事業者以外から供給を受ける蒸気をいいます。

4 電気事業者からの買電で、昼夜別契約をしていない場合は、全量昼間買電として計算してください。

5 自家発電は、「電気」の「その他」に実数値のみを記入してください。

6 燃料、蒸気、温水、冷水、電気を販売している場合は、「他人への供給」に実数値及び換算数量を記入してください。

7 「B その他のガス排出区分」の二酸化炭素は、別表第1の「2 非エネルギー起源」などを参考に二酸化炭素換算数量を計算してください。

8 第一種エネルギー管理指定工場等又は第二種エネルギー管理指定工場等を設置している場合は、事業者の内訳書の外、当該工場等毎の内訳書を添付してください。当該工場等毎の内訳書については、「工場等の名称」、「工場等の住所又は所在地」及び「工場等の主たる用途」を記入してください。

計画書記載例

計画書：目標年度

温室効果ガス排出量内訳書

氏名又は名称		株式会社徳島〇〇					
工場等の名称							
工場等の住所又は所在地							
工場等の主たる用途							
提出書類の区分		記載年度	記載年度の区分				
<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書 <input type="checkbox"/> 実施状況等報告書		31 年度 (29 年度 ~ 31 年度)	<input type="checkbox"/> 基準年度 (実績) <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度 (計画) <input type="checkbox"/> 報告年度 (実績)				
温室効果ガス排出量			実数値欄に入力				
A 二酸化炭素の排出区分	エネルギー種別		単位	実数値	原油換算数量 (キロリットル)	二酸化炭素換算 数量 (トン)	
	揮発油(ガソリン)		キロリットル	231	206	536	
	灯油		キロリットル				
	軽油		キロリットル				
	A 重油		キロリットル	1,500	1,513	4,064	
	液化石油ガス(LPG)		(トン)	100	131	300	
	液化天然ガス(LNG)		()				
	都市ガス(CNGを含む。)		千立方メートル				
	産業用蒸気		ギガジュール				
	産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水		ギガジュール				
	電気	電気事業者	昼間買電	千キロワット時	3,900	1,003	2,539
			夜間買電	千キロワット時	1,400	335	911
		その他	()	千キロワット時			
	上記以外のエネルギー	()		()			
		()		()			
()		()					
計 ①		—	—	3,188	8,350		
他人への供給	売電		千キロワット時				
	()		()				
計 ②		—	—	0	0		
合計 ③ (①-②)		—	—	3,188	8,350		
B その他のガス排出区分	温室効果ガスの種別		単位	実数値	二酸化炭素換算数量 (トン)		
	二酸化炭素(CO ₂)		トン				
	メタン(CH ₄)		トン				
	一酸化二窒素(N ₂ O)		トン				
	パーフルオロカーボン(PFCs)		トン				
	ハイドロフルオロカーボン(HFCs)		トン				
	六ふっ化硫黄(SF ₆)		トン				
	三ふっ化窒素(NF ₃)		トン				
計 ④		—	—				
該当する排出源の名称							
合計 ③+④ ③は二酸化炭素換算数量に限る						8,350	

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

3 産業用蒸気とは、熱供給事業者以外から供給を受ける蒸気をいいます。

4 電気事業者からの買電で、昼夜別契約をしていない場合は、全量昼間買電として計算してください。

5 自家発電は、「電気」の「その他」に実数値のみを記入してください。

6 燃料、蒸気、温水、冷水、電気を販売している場合は、「他人への供給」に実数値及び換算数量を記入してください。

7 「B その他のガス排出区分」の二酸化炭素は、別表第1の「2 非エネルギー起源」などを参考に二酸化炭素換算数量を計算してください。

8 第一種エネルギー管理指定工場等又は第二種エネルギー管理指定工場等を設置している場合は、事業者の内訳書の外、当該工場等毎の内訳書を添付してください。当該工場等毎の内訳書については、「工場等の名称」、「工場等の住所又は所在地」及び「工場等の主たる用途」を記入してください。

計画書記載例

計画書：目標年度

温室効果ガス排出量内訳書

※指定工場等を設置している場合は、当該工場等毎の内訳書を添付

氏名又は名称	株式会社徳島〇〇						
工場等の名称	〇〇工場						
工場等の住所又は所在地	徳島市〇〇町××番地						
工場等の主たる用途	〇〇工場						
提出書類の区分	記載年度		記載年度の区分				
<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書 <input type="checkbox"/> 実施状況等報告書	31 年度 (29 年度 ~ 31 年度)		<input type="checkbox"/> 基準年度 (実績) <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度 (計画) <input type="checkbox"/> 報告年度 (実績)				
温室効果ガス排出量			実数値欄に入力				
A 二酸化炭素の排出区分	エネルギー種別	単位	実数値	原油換算数量 (キロリットル)	二酸化炭素換算数量 (トン)		
	揮発油(ガソリン)	キロリットル	231	206	536		
	灯油	キロリットル					
	軽油	キロリットル					
	A 重油	キロリットル	1,500	1,513	4,064		
	液化石油ガス(LPG)	(トン)	100	131	300		
	液化天然ガス(LNG)	()					
	都市ガス(CNGを含む。)	千立方メートル					
	産業用蒸気	ギガジュール					
	産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水	ギガジュール					
	電気	電気事業者	昼間買電	千キロワット時	3,400	875	2,213
			夜間買電	千キロワット時	900	215	586
		その他	()	千キロワット時			
	上記以外のエネルギー	()	()				
		()	()				
()		()					
計 ①	—	—	2,940	7,699			
他人への供給	売電	千キロワット時					
	()	()					
計 ②	—	—	0	0			
合計 ③ (①-②)	—	—	2,940	7,699			
B その他のガス排出区分	温室効果ガスの種別	単位	実数値	二酸化炭素換算数量 (トン)			
	二酸化炭素(CO ₂)	トン					
	メタン(CH ₄)	トン					
	一酸化二窒素(N ₂ O)	トン					
	パーフルオロカーボン(PFCs)	トン					
	ハイドロフルオロカーボン(HFCs)	トン					
	六ふっ化硫黄(SF ₆)	トン					
	三ふっ化窒素(NF ₃)	トン					
計 ④	—	—					
該当する排出源の名称							
合計 ③+④ ③は二酸化炭素換算数量に限る					7,699		

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

3 産業用蒸気とは、熱供給事業者以外から供給を受ける蒸気をいいます。

4 電気事業者からの買電で、昼夜別契約をしていない場合は、全量昼間買電として計算してください。

5 自家発電は、「電気」の「その他」に実数値のみを記入してください。

6 燃料、蒸気、温水、冷水、電気を販売している場合は、「他人への供給」に実数値及び換算数量を記入してください。

7 「B その他のガス排出区分」の二酸化炭素は、別表第1の「2 非エネルギー起源」などを参考に二酸化炭素換算数量を計算してください。

8 第一種エネルギー管理指定工場等又は第二種エネルギー管理指定工場等を設置している場合は、事業者の内訳書の外、当該工場等毎の内訳書を添付してください。当該工場等毎の内訳書については、「工場等の名称」、「工場等の住所又は所在地」及び「工場等の主たる用途」を記入してください。